

待望の会員親睦バスツアー

6月27日

3年ぶりの待ちに待った会員親睦バスツアー。天候にも恵まれ、総勢33人を乗せたバスは、9時に水無瀬バスターミナルを出発。カップヌードルミュージアム・箕面観光ホテル・大阪国際空港へと向かいました。参加された方々の感想をリレー形式でご紹介いたします。

カップヌードルミュージアムにて



記念館前の安藤百福像を背景に！

製作の機械や手順が見えて面白かったです。後は他の展示の見学やグッズの買い物で楽しく過ごしました。(森川幸子)



世界に一つだけのオリジナルカップヌードル



チキンラーメンから約800種類へと発展

各自がカップに絵や字を描き、スリーブと具材を選びます。係の方が機械で包装まで仕上げてマイカップヌードルの出来上がりです。

箕面観光ホテル

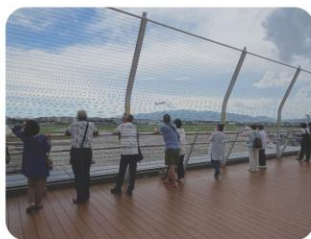
11時半からのバイキング。消毒、手袋と対策がとられて安心しての昼食。和・洋・中華とメニューも豊富で、「元を取ろう。」とお腹を空かしての参加。少しずつ盛ってもお盆いっぱい



ランチバイキング風景

大阪国際空港見学

午後2時に、伊丹空港に到着後、駐車場から4階の展望デッキへ。真夏のような暑さを心配していましたが、曇天で強めの風が吹き、ゆっくり見学出来ました。改装後、初めてですが、飛行機までの距離が遠くなったような感じがします。小さな双発のプロペラ機が意外に多く、大きな音を残して発着しています。



航空機離陸の瞬間

新型コロナウイルスの影響なのか、離発着が少ないような感じでした。帰りにお土産店でキョロキョロしながら、予定時間の15分前にバスに到着すると最終者で、全員は一団で行動していたようでした。今日一日を思い出しながら帰途へ。

(石井文男)

活動あれこれ

自治会・小校長との交流会 (5月21日)

はじめに、地区福祉活動全般についての社協制作の啓発ビデオを視聴しました。主な内容は、少子高齢化社会に向けた子育てサロンやいきいきサロンです。子育て世代・高齢者のニーズやいきがいに繋がればと願う取り組みの紹介です。



そのあと、自治会・学校との連携や、地域住民に福祉活動への理解と協力を頂く取り組み(交流行事・広報)のあり方について、真摯に情報交換や話し合いが行われました。ご参加ありがとうございました。(南)



子育てサロン「こあら」

七夕 7月20日

鍛治さんの呼びかけで七夕づくりが始まりました。「こあら」でも個々に笹と、スタッフ手作りの可愛い折り紙の飾りが用意されていました。子どもたちは小さな手でマジックを握り短冊に絵を描いています(笑)。「どんな願い事でしょう、お母さんたちは、それぞれの短冊を笹の葉に飾りました。「皆様の願いが叶いますように」子どもたちの笑顔が絶えないひとときでした。(井上)

保護者の声

■畳の大部屋、広くて動き回れて良いです。(小川)
■おもちゃの遊び方が上手になっていて、成長が分かります。(木挽)
■家のおもちゃと違って、いろいろあって良いです。大きなお姉ちゃんが好きで会えて嬉しそうです。(藤井)
■「こあら」の場所に慣れてきているようで、ニコニコ笑顔です。(吉井)
■子どもたちの居場所がふれあうことやスタッフさんに会える楽しみ。(近くに祖母がいません。)(奥田)

下校時見守り

第一・第三の月曜日、2時30分から3時30分ごろまで、緑のベストを着たボランティアが主に1年生の下校時間に、子どもたちの安全を願って見守り活動をしています。



右見て左見て

日ごろから通学路近くにお住いの方は、下校時間帯に外に出て見守っていただけたら、犯罪の抑止力になると思います。ご協力をお願いします。(田村)

社協まつり(9月11日)

広報部は、啓発パネルを製作。またネットワーク部を中心にポッチャー体験会や子育てサロン体験会にも参加協力しました。(南)



■知らない場所でも、緊張がほぐれている様子が分かり嬉しい。(池尾)



いろいろなおもちゃがあって楽しいな!

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大で、中止になっていた「いきいきサロン食会」を特集しました。久々に人権文化センター調理室で、心のこもったお弁当づくり、スタッフは調理できたことの喜び、参加者の皆さんは、美味しく食べやすく、と工夫されたお弁当に満足感、コロナ禍で途絶えていた地域での人と人とのつながりに、みんながホットとしたのではないのでしょうか。

しかし、変異したコロナウイルスは感染力を強め、9月には島本町でも、累計6000人を超える感染者数となっており、高齢者や基礎疾患を持つ方のリスクが高いため、福祉活動がまた危ぶまれます。いつになったら安心してできる日々が来るのか、祈る気持ちでいっぱいです。(篠原)